

三条南ロータリークラブ週報

Sanjo Minami Rotary Club



2022-23 クラブテーマ **未来創造**

2023. 3. 13

PETS 報告

No.2442

No.25



会長挨拶

三条南ロータリークラブ
会長

松崎 孝史

今 WBC が日本・アメリカ・台湾で開催されています。

日本のチームを見ても、打者は各チームで 4 番を打っている選手ばかり、ピッチャーも各チームでのエースが揃っています。

しかし、強打者やエースピッチャーが揃っていても必ず勝つ理由とはなりません。

なぜならば、毎年開催される箱根駅伝を考慮してください。参加チームに「学生連合」というチームがあります。それなりに力のある選手が集まりシード校や予選を突破してきたチームと競います。

学生連合は最初は良くて段々と順位を下げていきます。たとえ襷が渡せなくても号泣することはありません。

やはりそこには「母校のため」「仲間のため」という意識が働く大学チームが毎年上位を占めています。

日本チームも選手同士の懇親会やベテラン選手が若手の選手の中に進んで入っていきチームワークを作ろうとする姿は我々も学ぶことができる点ではないでしょうか。

◆本日の出席：41名中27名

◆先週までの通算出席率：84.06%

◆先週までのメイクアップ

▷2/28 三条北 RC へ 坪井康紀君

◆幹事報告 太田義人幹事

◇地区米山記念奨学委員会より

「米山記念奨学生オリエンテーションと歓迎会」のご案内

日時：2023年4月22日（土）

14:00～14:30 受付

14:30～16:00 オリエンテーション

16:00～18:00 歓迎会

会場：ANAクラウンプラザホテル新潟

出席対象：米山奨学生カウンセラー太田義人幹事

このオリエンテーションをもって奨学生たることが確定して、5月から、基本的に第一例会に出席します。

◇小千谷 RC より

「創立 60 周年記念式典祝賀会」のご案内

日時：2023年5月27日（土）

13:30～ 受付

14:00～ 記念式典

15:20～17:20 祝賀会

会場：小千谷市総合産業会館サンプラザ

松崎孝史会長出席

マスクの着用について

政府の指針を受けた全国銀行協会の申し合わせに添い、三条信用金庫様の内部ルールでは、

「3月中はマスクを継続、4月からは不要とする」とのことです。

会場使用の場合、同様の対応を取りたいと思います。

3/27 例会までは、今まで通りに、マスクをご着用ください。

4月以降は、状況に応じて、各自のご判断でお願い致します。



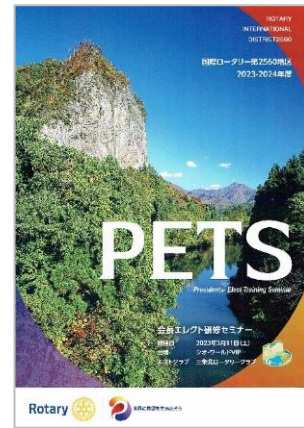
国際ロータリー会長 ジェニファー・ジョーンズ (カナダ)
第2560地区ガバナー 高橋 秀樹 (新潟)
第4分区ガバナー補佐 渡邊 喜彦 (巻)
会長 松崎 孝史
幹事 太田 義人
SAA 桑原 朋子

事務局
〒955-8666 三条市町2-5-10
三条信用金庫本店内
TEL 0256-35-3477
FAX 0256-32-7095
E-mail info@sanjo-minami.jp
URL <https://www.sanjo-minami.jp>

2023-24年度（米山忠俊ガバナー年度） PETS（会長エレクト研修セミナー）



熊倉 高志 会長エレクト



3月11日にジオワールドVIPにてPETSが開催されました。ロータリーはガバナー・ノミネー・エレクトをはじめとした普段使いたないことばが多いことは皆さんも承知のことと思います。PETSもしかりです。PETSとは「会長エレクト研修セミナー」のことです。午前中は次年度地区委員長の基本方針発表をかわきりに、午後は地区研修リーダーからクラブ活性化のはなしをお聞きし、ガバナー補佐の皆さんから抱負と方針の発表をしていただきました。

米山年度の方針は「ロータリーの心で友情を深めよう」です。ロータリーの心とは、とあらためて考えると奥深いものがありますが、友情を深めることは親睦を深めることと考え、当クラブでも次年度の方針に絡めていきたいと考えています。

数値目標は6つ掲げられており、中でも最初の2つは御本人曰く「厳しい数字であるとは自覚していますが」とあるように、以下のような数字となっています。

- ① 新規会員入会数：各クラブ10%増
- ② 女性会員：各クラブ会員の20%以上

またDEIすなわち多様性・公平性・一体性の重要性も掲げております。

これらの方針のもと、地区大会、地区大会記念ゴルフ大会のコホストクラブとして、また、三条市内4RC会の幹事クラブとして、新年度へ向けて新役員をはじめとして皆様方に様々なご協力、要請をお願いすることになりますが、精一杯努めたいと思いますのでよろしくお願いいたします。



米山 忠俊 ご夫妻 ゴードン R. マッケナリー ご夫妻

😊 ニコニコボックス

3/13 10,000円 本年度累計 337,000円

松崎会長「きょうはうなぎでした。

どうでしたか？

WBC、日本は準決勝進出です」

太田幹事「うなぎ楽しみです！」

西巻君「久々にうなぎ弁当で元気を付けて頑張ります」



熊倉君「一昨日、PETSに参加してきました。いろいろと準備のご協力お願いいたします」

坂井君「11～12日、鶴岡のお得意様の見本市に行きました。月山志津温泉に泊まりました。まだ4mくらいの雪でした」

西潟君「女子プロゴルファーの泉田琴菜さん、先週も予選通過し、テレビに映る順位までは行っていませんが頑張っています。応援したいと思います」

田代君、銅冶君、吉沢君「BOXに協力します」

布施君「久しくご協力してなかったBOXです。よろしくお願い致します。BOXにご協力ありがとうございました」

(PETSプログラムより)
2023-24年度 地区運営方針
「ロータリーの心で友情を深めよう」

国際ロータリー第2560地区
ガバナーエレクト
米山 忠俊 (三条北)



ゴードン R I 会長エレクトは、国際協議会での講演で、2023-24年度のテーマを発表されました。

「世界に希望を生み出そう」
Create Hope in the World

この長く続くコロナ禍において、ロータリーが世界に変化をもたらし、ロータリーが世界に希望を取り戻すことが求められています。

「希望は、夢を実現したいと強く願う人たちの夢、想像力、そして勇気の中にあります。」

これは、R I 会長エレクトが講演で引用した言葉で、ポリオワクチン開発者のジョナス・ソーク博士の言葉です。

第2560地区でも、このテーマとともに、クラブや委員会の活動が活発化し、地区のすべてのロータリアンが、心に希望を持って活動して頂けますようお願いいたします。

まず、第一に私が皆様にお伝えしたいことは、あらゆるロータリー活動の主役は、一つひとつのクラブであり、一人ひとりのロータリアンである。ということです。私たち地区の役割は、活動をサポートする。それだけに過ぎません。一人ひとりのロータリアンが奉仕の理想で活動を行い、それを楽しむことができれば、こんなに素晴らしいことはないでしょう。

そこで私は、23-24年度の地区テーマを「ロータリーの心で友情を深めよう」にいたしました。楽しくない、友情も育まれないようなクラブに入りたいと思う人はいるでしょうか。自分自身が楽しいことが、地域の、ひいては世界の希望を生み出す種になる。ぜひ、そのような気持ちで、活動に取り組んでほしいと思います。

また、様々なニュースが飛び込む中、特に注力しなければいけないトピックがDE Iです。

会員増強のためだけではなく、第2560地区をオープンな組織にするためにも、このDE Iの促進を徹底することが必要です。特にRACや女性会員の増強に力を入れていければ、と考えています。人の内面や外面、つまり価値観、文化、宗教、性格、経験、性的指向、性自認、人種、民族、国籍、言語、性別、年齢、障がい、健康、家族、社会的地位、学歴、職歴等のあらゆる違いすべてを公平に包括的に扱うこと。これが、とても重要です。

さらに、モラルの低下も、私が課題に入れたいことの一つであります。一人ひとりのロータリアンで構成されているクラブ、地区ですから、一人ひとりが自分はロータリアンであるという社会的責任の重大さをもう一度確認して頂きたいと思います。

最後になりましたが、R I 会長エレクトの講演で私が一番心に残った言葉をご紹介します。それは、継続が重要。ということです。

今までの我々の活動、お歴々のパストガバナーや高橋ガバナーの下で行ってきたすべてのことが十分なほどに素晴らしい活動だったのです。私のこれからの活動は、それを少しずつ前進させ、継続させていくこと、そして次の世代に繋げていくことでしかありません。何も、新しいことを0から始める必要はありません。今まで築いてきた素晴らしい土台の上に、皆様のお力で、ロータリーの華を咲かせましょう

数値目標

- ① 新規会員入会数：各クラブ10%増
- ② 女性会員：各クラブ会員の20%以上
- ③ ロータリー財団寄付：年次基金150ドル/会員
- ④ ロータリー財団寄付ベネファクター：10名以上
- ⑤ ポリオプラス寄付：30ドル/会員
- ⑥ 米山記念奨学金寄付：20,000円/会員

(普通特別寄付合計)

上記が具体的な数値目標です。特に①、②においては、このご時世において、厳しい数字であるとは自覚していますが、強気の姿勢としてこの数字を提示させて頂きました。

①の新規会員数の増強に関しましては、会員増強・戦略計画・広報公共イメージ向上委員会指導の下、根気強く活動を展開してほしいと思っています。会員増強というのは、今日頑張ったら明日結果が出る、というようなものではありません。今年頑張ったことが、再来年に結果として数字に出てくる。というようなこともあります。どうか目先の数字だけを見て落胆せず、中長期的な目で将来を見据えた活動をお願いいたします。時には、委員会の垣根を越えて協力して頂くことも重要だと思いますので、手に手をとってロータリーの友情の輪を広げいきましょう。

②の女性会員の増強に関しましては、国際協議会で知り合った各国の女性ガバナーエレクトの多さと、日本団に一人も女性のガバナーエレクトがないことに、ショックを受けたことに端を発した目標です。J. ジョーンズ R I 会長のおっしゃる「女性会長ではなく、一人のロータリアンとして会長を務める」という考え方は、男女同数程度のロータリアンがいてこそ、あてはまる言葉ですので、我が地区でも同数までとは言わずとも20%以上を目標にDE Iの促進を徹底して頂きたいと思っています。

以上が私の2023-24年度地区運営方針そして数値目標です。皆様、ご理解ご協力のほど、宜しく願い申し上げます。